



2017年5月2日

各 位

会社名 株式会社アイティフォー  
代表者名 代表取締役社長 東川 清  
(証券コード 4743 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理本部長 中山 かつお  
(TEL. 03-5275-7841)

## 中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2017年5月2日開催の取締役会において、2015年6月19日取締役会で決議いたしました中期経営計画(2016年3月期～2018年3月期)につきまして、昨今の業績動向を踏まえ見直すこととし、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画見直しの背景

当社は、2018年3月期に売上高150億円、営業利益20億円、ROE10%以上を目指す「中期経営計画 ～Step up next 150-2018～」に基づき、(1) 公共システム事業の売上構成比を20%へ、(2) 既存事業の継続的成長、(3) システムソリューション品質の継続的向上、(4) M&Aの推進という基本方針での収益拡大を図ってまいりました。

そうしたなかで、我が国の経済は緩やかな回復基調にあり、当社グループの属する情報サービス業界におきましても金融や流通分野での各種制度対応としてのシステム更新のほか、戦略投資としてのIT投資案件が増加しており、投資需要は今後とも堅調に推移するものと見込まれます。

しかしながら、2017年3月期においては基盤ソリューション事業において大手モバイル通信キャリア向けビジネスほか大手顧客からの受注が急速に減少したことや、コンタクトセンター向けシステムにおいても、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用した業務効率化への引き合いが大幅に増加しているものの、収益化に時間を要したことなどから、5月1日に業績の修正を発表する結果となりました。

この結果をうけまして、2018年3月期の数値目標を下記のとおり修正いたします。

#### 2. 2018年3月期計画見直しの内容

##### 事業方針

- ・ 全社で当社のお客様資産を共有し、全ての取引先にCTIや基盤ほか幅広いソリューションを提案し、販売拡大を図る
- ・ 金融機関でのCRMソリューション、自治体でのITやBPOの対象範囲の拡大、ホームセンターや専門店向け基幹システムの開発などで新規のソリューション開発や対象範囲の拡大を図る
- ・ 金融機関や百貨店、専門店等へセキュリティ性に優れた決済サービスを提供する「iRITSpay (アイ・リッツペイ)」事業を全社的に展開する

・IoT、ブロックチェーンや LINE-API など最先端の技術の取得に努め技術力を強化し、更に充実した機能のパッケージを提供していく

#### 事業方針の具体的施策

・IT インフラ構築に関する顧客基盤を拡大し、戦略商品をタイムリーに提案していく体制の強化を目的として、『CTI システム事業部』と『基盤ソリューション事業部』を統合し『CTI・基盤システム事業部』を新設する。また、同事業部の下に『営業推進部』および『営業企画部』を設置し提案力を向上させると同時に、営業担当者が訪問頻度を向上させるなど営業活動により専念できる体制を構築する

・主力の金融機関向けサービスにおいて幅広い顧客情報を集約し組織を簡素化することで、戦略をスピーディに展開することを目的として、『フィナンシャルシステム第一事業部』と『フィナンシャルシステム第二事業部』を統合し『フィナンシャルシステム事業本部』を『フィナンシャルシステム事業部』とする

・公共システム事業部の人員を増強し、公共向けパッケージソフトの販売を強化していく

#### 計画数値

(修正前)

	2017年3月期 計画	2018年3月期 計画
売上高	133 億円	150 億円
営業利益	16.5 億円	20 億円

・ROE10%以上を目指す。

(修正後)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画
売上高	111.11 億円	130 億円
営業利益	12.69 億円	17 億円

・修正経営計画を達成し今期連結 ROE9.3%を目標とする(前期実績：7.7%)

※上記の計画は、本資料の発表日時時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上